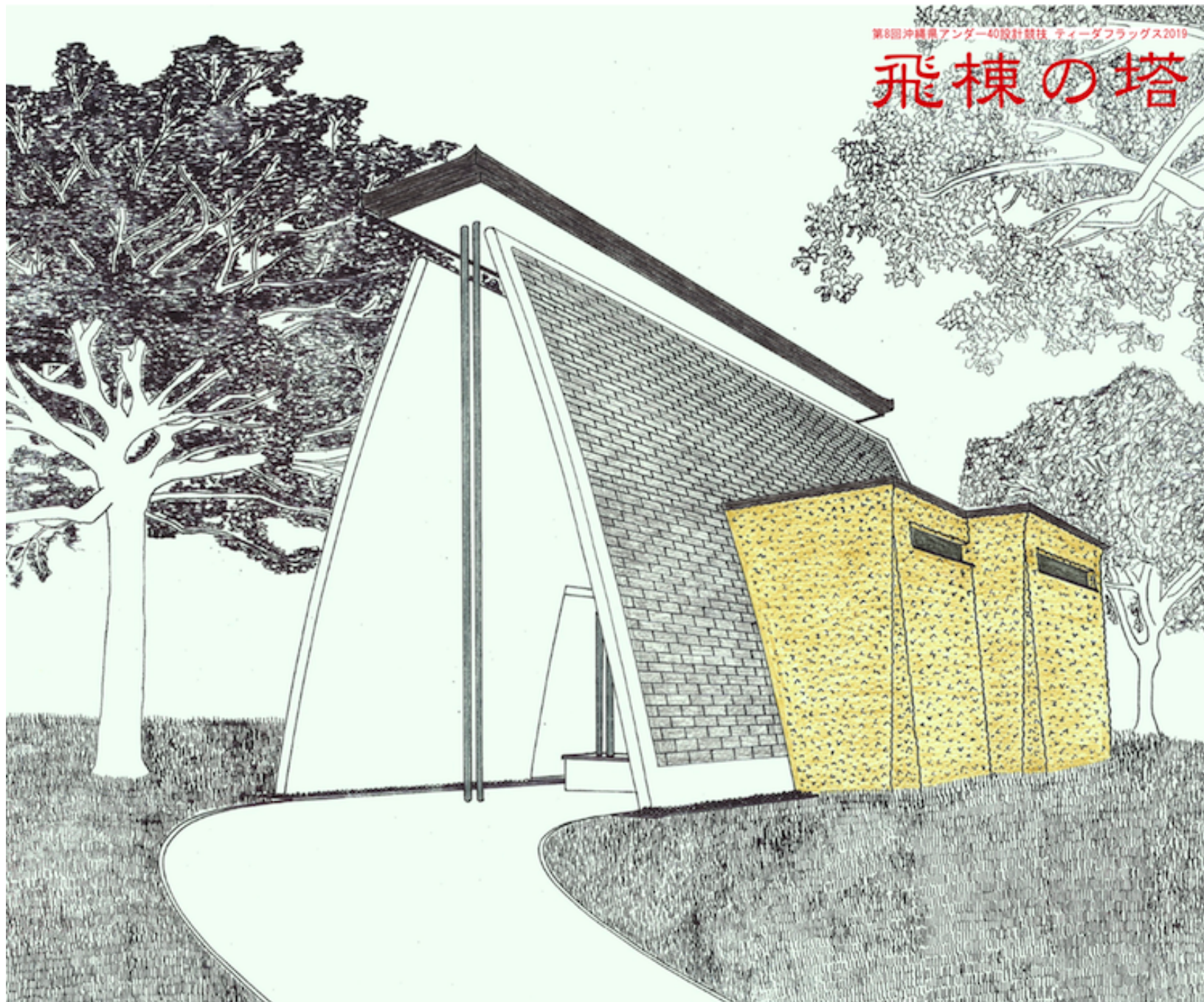


# 飛棟の塔



大きな広場が広がる見通しのよい中城公園の「自然共生エリア」において、**園内のランドマークとなる“塔のトイレ”**を提案します。  
 塔の頂部である棟は、列柱によってむくり屋根から浮き上がり、水平のスリットから**自然の光が差し込みます**。  
 また、中城城跡を中心とする公園の施設設計にあたり、歴史的な沖縄建造物の意匠を細部のデザインとして昇華させ、**沖縄の歴史・文化を現代に引き継ぐことを意図しています**。

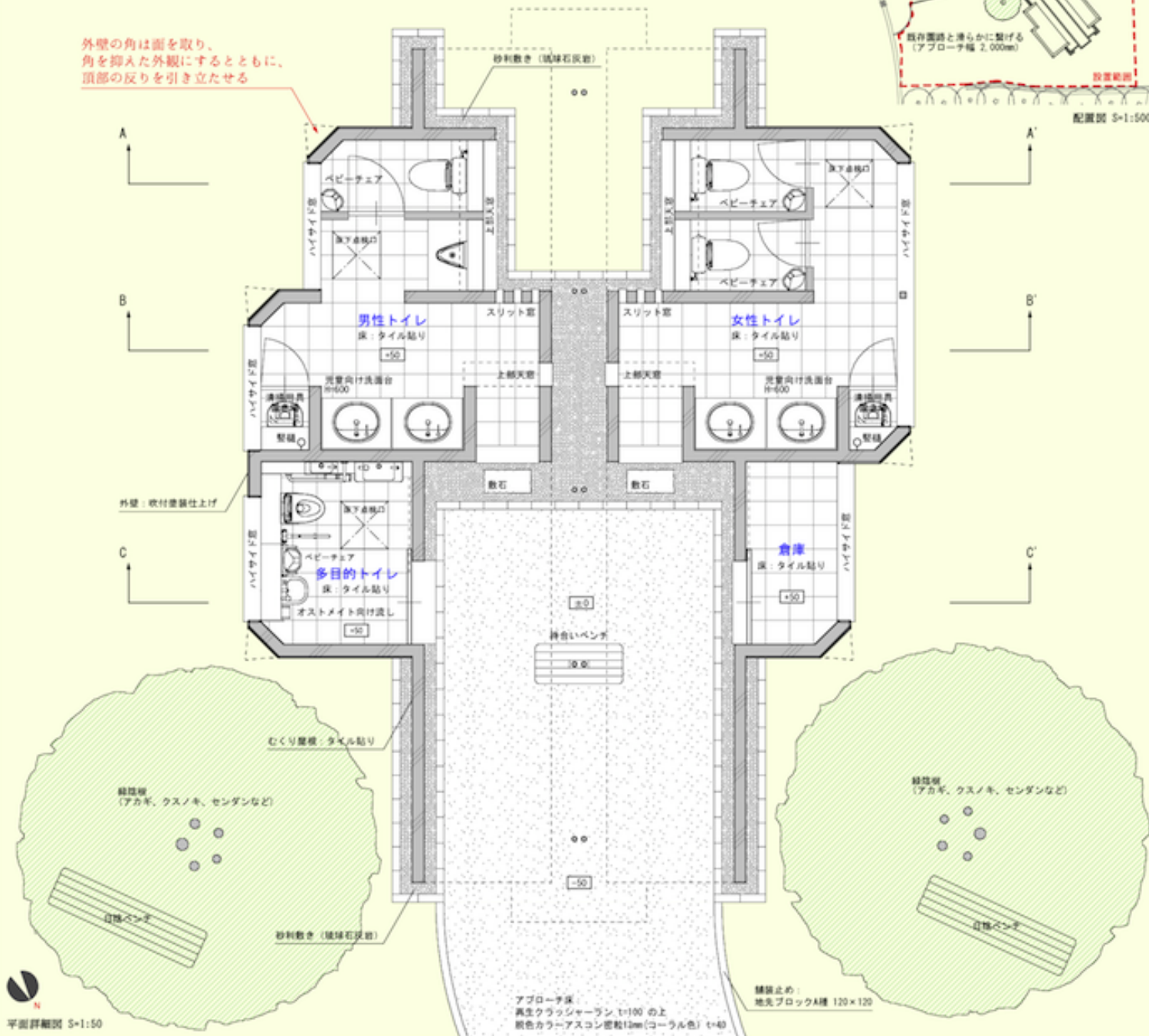
細部のデザインに参照した沖縄建造物



## 全体計画

アプローチは既存園路と同じ仕上げで滑らかに繋げ、段差のないスロープとしてバリアフリーに配慮した。また、極力段差を設けないように床高さを設定し、児童や身障者が安全に利用できるように計画した。建物前面には緑陰樹を植栽し、保護者の休憩スペースとなる日陰を確保するとともに、建物の印象を和らげて公園の景観に配慮した。

外壁の角は面を取り、角を抑入た外観にするとともに、頂部の反りを引き立たせる



## 断面計画

トイレ室内は各所にハイサイド窓や天窗を計画し、自然光による採光を積極的に取り入れるとともに、自然換気による換気を図る。また、メンテナンスのしやすさに配慮し、各室に地下ビットを設けた。

